

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立東松山特別支援学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が的確に示されている学校像である。学校の現状や課題などを基に、大切にすべき項目が示されているが、次のステージに向けた学校像へと工夫できると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度目標が整理され、学校の目指すところが示されている。保護者・地域などの期待や児童生徒の実態を踏まえ、中期的な視点から課題を分析して更に具体的なものとする事が望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートの検討時期を早めるなど、学校自己評価システムに基づく計画的・組織的な取組に向けた工夫が進められている。学校全体と分掌・学部との連携及び分掌・学部間の連携を更に図り、よく議論を行うなど、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部等で方策が策定され、取り組まれている。学校全体の課題解決に向けて、学校全体と分掌・学部等の取組を更に有機的に結び付けて実施するとともに、評価指標については達成イメージを共有できる具体的なものとするように工夫することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校の現状や課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、教職員や学校関係者の共通理解を図っている。校長がリーダーシップを的確に発揮して、学校の将来像についての中・長期的なビジョンを示し、全教職員が目標達成に向けて組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートを実施して、前年度の課題を次年度の方策の策定などに生かしている。アンケート項目について工夫するとともに、結果等を更に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			